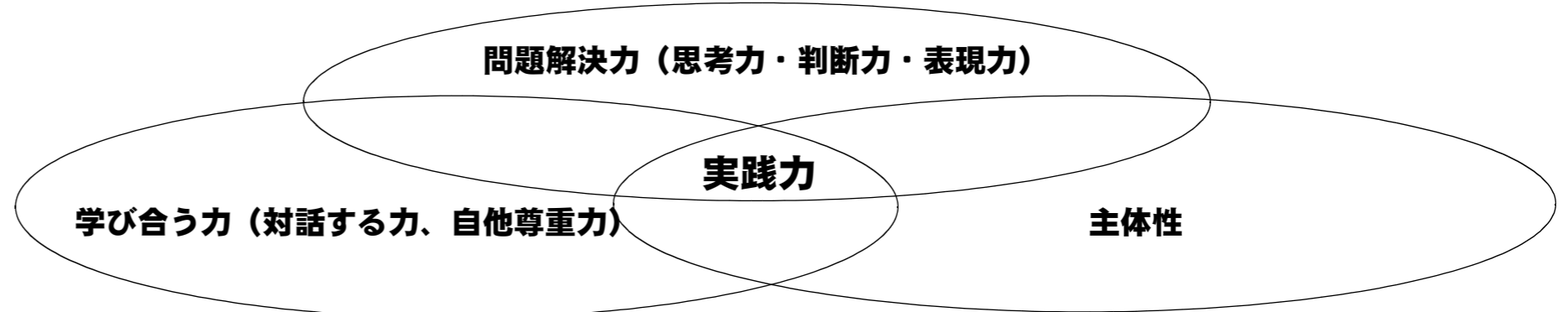




教育目標

**学び合い 高め合い
共に伸びる子**

育成を目指す資質・能力



重点目標：**知**
人の話を聞いて受けとめ、
自分の思いや考えを伝える子

各教科・総合的な学習の時間

<具体的な方策>

- 「主体的・対話的で深い学びの授業」の実践。
- Web配信問題（4年生以上）・下学年テスト（1・2・3年生）の実施。
- 家庭学習強調週間の設定やカードの工夫。
- 「しばたの心継承プロジェクト」重点単元の実施。
- 発表力・表現力を育てるための学習発表会の実施。

<目標とする成果>

- ①国語と算数の授業の内容が「わかる」と肯定的に評価する児童の割合を90%以上にする。(R4)
- ②学年の発達段階に応じた内容で、学年×10分以上の家庭学習を継続することができる児童の割合を85%以上にする。(R4)

重点目標：**徳**
どうすればよいかよく考え、
誰もが心地よい人間関係を築く子

道徳・特別活動・生活指導

<具体的な方策>

- 小中連携事業「あいさつ強調月間」を学期1回実施。
- ピアサポート・プログラムに基づく桜っ子グループ活動の実施。
- アサーショントレーニングの継続と充実。
- 人権教育、同和教育の視点に立った道徳授業の実施と公開。
- いじめ把握アンケート「学校生活についてのアンケート」や「学校生活アンケート」、情報交換会等を活用した子どもの理解。

<目標とする成果>

- ①あいさつの「じぶんのめあて」が達成できる児童を90%以上にする。(R4)
- ②相手も自分も大切に気持ちよく学校生活を送ることができた児童を80%以上にする。(R4)

重点目標：**体**
安全で健康な生活のための知識を活かし、
自分のめあてに向かって取り組む子

体育・健康教育・食育

<具体的な方策>

- 体力向上重点種目につながる重点単元の設定と、体力向上のための補強運動の実施。
- 「食とみどりの新発田っ子プラン」に基づいた「食に関する指導」「体験的な学習」の継続と充実。
- 「食に関する指導」の計画により、教科等での学習や給食指導、体験的な学習を継続し、充実を図る。
- 2回のパワーアップ週間の前の、生活習慣改善の事前指導の実施。

<目標とする成果>

- ①重点単元(児童が苦手意識を抱きやすい単元)終了後に児童アンケートをとり、「体育の授業が楽しい」と答える児童の割合を90%以上にする。(R4)
- ②パワーアップ週間(1週間)で、メディア時間を平日2時間以内、休日は自分が決めた時間を75%以上の児童が守ることができる。(R4)

家庭・地域との連携

- PTCA活動を基盤にした連携強化。
- 加治川地域に根差した特色ある学校づくりの推進。

学級経営・学年(学年部)経営の充実

- 子どもと教師、子どもと子どもの信頼関係を基盤にした学び合い・高め合う学級集団の育成。

教職員の協働

- 校内研修の充実による指導力と専門性の向上。
- 「教えて 考えさせる授業」の推進による学ぶ意欲と確かな学力の向上。
- 創意と工夫をもった教育活動の力強い展開。

人権教育、同和教育

特別支援教育

子どもの願い

- ・「友達と仲良くしたい。」「一生懸命学習したい。」

保護者・地域の願い

- ・自分の思いや考えを話せる子になってほしい。
- ・楽しく学習し、学校生活を送ってほしい。

教職員の願い

- ・「話す力」とともに「聞く力」をもっと育てたい。
- ・自分も相手も大切にしたい。

教育課題

- 自分で考えて豊かな人間関係づくりができるようにする。
- 子どもが主体的に学び、共に学び合うようにする。
- どの子どもにも基礎・基本を定着させ、確かな学力を向上させる。
- 知識の活用、めあての設定により、よりよい生活習慣を身に付け、体力を向上させる。

市民の願い「道学共創」

- ひとが第一、ひとが大事、新発田の教育<目指す子どもの姿>
- 新発田への愛着と誇りをもち、夢や希望に向かって、学び続ける子ども